

蒼穹NEWS

No.4

七大戦総括号

平成 29 年 8 月 6 日発行



～目次～

- 1 主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶
- 2 七大戦結果
- 3 七大戦詳細
- 4 七大戦記録
- 5 七大戦オープンの記録
- 6 応援にお越しいただいた OB・OG の方々

1. 主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶

主将挨拶

去る7月29日から30日の2日間にわたり、七大戦が開催されました。多くの蒼穹会の皆さまが名古屋までお越しくださり、多大なるご声援をくださりました。心より感謝申し上げます。

男子は初日のハンマー投から流れを掴み、2日目も100mや5000mWの複数表彰台、4×100mRの大会新での優勝など、中盤までは良い流れで試合をできました。しかし、そこからは得点を伸ばすことに苦しみ、戦前に三つ巴と予想されていた名古屋大学、大阪大学に差をあげられ、3位に敗れる結果となりました。

100m、200m、4×100mRで3冠を果たした澤(4)や、3連覇の山西(4)の活躍が光る一方で、活躍が期待されるも得点の伸び悩んだ主力選手もあり、またそれを補える選手層がありませんでした。今後の活躍を期待してくれた下回生も多くありますが、勝てるだけの水準に至らなかったのは、主将としての私の力不足を感じております。

9月30日には、東大駒場グランドにおいて東大戦が行われます。男子は私の入学後3年間で勝利を掴んでおらず、女子も昨年連覇が10で途切れしました。4年ぶりの男女総合優勝を掴み、このチームで最後こそは勝利の喜びを勝ち得たいと思っております。蒼穹会の皆さまには、今後とも変わらぬご支援ご声援のほど、何卒よろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部主将 浅野 智司

女子主将挨拶

先日名古屋で行われました七大戦において、女子は総合4位という結果に終わりました。優勝という目標を掲げて全員で力を尽くして戦いましたが、力及ばず悔しい思いをしました。しかしながら、七大戦という大舞台で自己ベストを更新したり、決勝で活躍したりと熱い戦いぶりを見せた選手も多く、この1年の努力の成果が現れた大会でもありました。今大会の悔しさをひと時も忘れることなく練習に励み、来年こそは男女総合優勝を成し遂げてくれるものと信じております。

今年は部員との相談の上、9月の関西学生女子駅伝には出場しないという決断をしましたので、次にチームとして目指す対校戦は10月の東大戦となります。現状を見てもとても厳しい戦いが予想されますが、必ず勝利をおさめたい

と部員一同思っております。残り 2 ヶ月でさらなるレベルアップをして東大戦に臨むべく、チーム一丸となって頑張っていこうと思います。

最後になりましたが、大変な暑さの中、多くの蒼穹会の皆様に応援激励をいただき、誠にありがとうございました。皆様に嬉しい結果報告ができますよう精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援ご声援のほど宜しくお願い致します。

京都大学陸上競技部女子主将 岸本 絵理

監督挨拶

名古屋で行われた七大戦、京都大学は男子総合 3 位、女子総合 4 位という結果になりました。

男子においては三つ巴の戦いが予想されており、中盤まではリードしながらも最終的には優勝した名古屋大学に 20 点近くの差をつけられてしまいました。大きなとりこぼしはほとんどなかったものの、事前予想を覆せた選手もほとんどおらず、主管校である名古屋大学の意地と勢いの前に敗北を喫しました。女子もフィールド優勝を果たすなど、各選手の成長が実感できる試合ではあったもののレベルの上がりつつある各種目で点を取りきることができず、4 位という結果に甘んじました。全体として、1 点 1 点を取りこぼしていった詰めの甘さが優勝校との力差として現れたように思います。

次は東大戦です。このチームは 3 回生以下の主力選手も多く伸びしろは十分にあります。近国、同志社戦の 2 連戦を乗り越えて夏を経て一段と成長して、その成果を発揮したいと思います。

蒼穹会の皆様方、暑い中大変多くの先輩方に来ていただいたにも関わらず、結果を出すことができず、申し訳ありませんでした。どうか変わらぬ御支援、御声援のほど、宜しくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部監督 紀平 直人

2. 七大戦結果

男子総合の部

1 位	名古屋大学	9 6.5 点
2 位	大阪大学	8 4 点
3 位	京都大学	7 1.5 点
4 位	東北大学	6 4.5 点
5 位	北海道大学	4 4 点
6 位	東京大学	3 4.5 点
7 位	九州大学	2 5 点

男子トラックの部

1 位	名古屋大学	5 9 点
2 位	京都大学	5 3 点
3 位	大阪大学	4 3 点

男子フィールドの部

1 位	大阪大学	4 1 点
2 位	名古屋大学	3 7.5 点
3 位	東北大学	3 2.5 点

女子総合の部

1 位	東北大学	1 9 点
2 位	大阪大学	1 9 点
3 位	東京大学	1 6 点
4 位	京都大学	1 0 点
5 位	名古屋大学	9 点
6 位	北海道大学	5 点
7 位	九州大学	2 点

女子トラックの部

1 位	東北大学	1 6 点
2 位	東京大学	1 2 点
3 位	大阪大学	1 2 点

女子フィールドの部

1 位	京都大学	7 点
2 位	大阪大学	7 点
3 位	東京大学	
	名古屋大学	4 点

3. 七大戦詳細

1日目【7月29日(土)】

ハンマー投 決勝

浅野 智司	(4)	43m96	1位	PB
大橋 悟	(2)	37m06	4位	PB
三谷 圭	(2)	31m29	9位	PB

男子ハンマー投は1日目に行われた。
優勝を狙う浅野(4)は全て40m 台を投げきり、6投目に43m96の PB を記録、見事優勝を飾った。

大橋(2)は1投目から33m 台をマーク、5投目では36m44を投げ、6投目は PB の 37m06を記録。事前ランキングを塗り替える4位となった。

三谷(2)は1投目から PB の31m29を投げた。2投目は29m92、3投目はファウルとなってしまう9位についた。1位以下5人が36～8m を記録したが京都大学は一日目から9点を得点した上、全員が自己新を記録。2日目の残りの本戦に向けて幸先のいいスタートを切った。

(藤田)



ハンマー投は堂々の優勝、やり投も得点し、主将にふさわしい活躍を見せた浅野。

2日目【7月30日(日)】

<トラック競技>

女子100m 予選

川崎 仁美	(4)	13.20 (+0.8)	Q	PB
小野 萌子	(3)	13.03 (+0.3)	q	PB

2日目のトラックで1種目目に行われた女子100m 予選には川崎(4)と小野(3)が出場した。1組目に登場した川崎は中盤から粘り強さを見せ、自己ベストである13.20を記録し、組3着で決勝進出を決めた。2組目に登場した小野はスタートで出遅れたもののロングスプリンターならではの後半の伸びで巻き返し、組4着の13.03となり、タイムの一番目で決勝進出を決めた。(澤田)

男子100m 予選

安藤 晃一	(3)	10.80 (+0.8)	Q
澤 薫	(4)	10.77 (+1.1)	Q
庄司 溪	(4)	10.81 (+0.9)	q PB

男子100m には安藤、澤、庄司の3人が出場した。安藤はスタートこそ横の東大の選手と並んだが中盤で抜け出し、後半は流す余力を見せ1位でゴールした。

澤はスタートで飛び出し、中盤で独走。後半は周りを見ながら流して1位でゴールした。

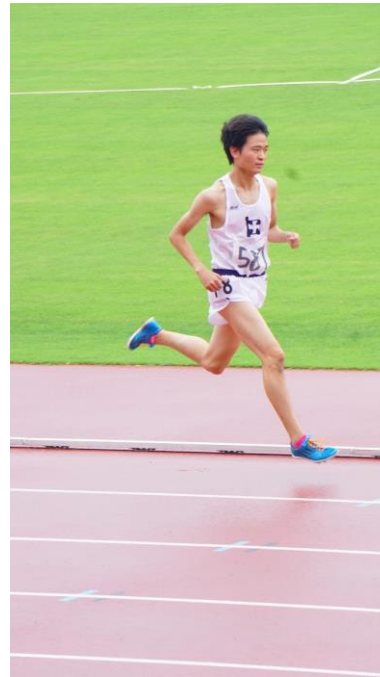
庄司はスタートで出遅れるが中盤で持ち直し、後半は名大の選手と並んで3位でゴールインした。庄司はプラスで拾われたので3人とも決勝に進出し、特に庄司は自身の持つ10.94のベストを大幅に更新して京大の選手を大いに盛り上げた。(増尾)

1500m 決勝

清原 陸	(1)	3.57.55	4位	PB
柴田 裕平	(4)	4.09.68	14位	
友田 浩平	(4)	4.13.55	18位	

男子1500m には友田、柴田、清原の3人が出場した。レースは序盤から縦に長く分かれ、東大の近藤、渡部が先頭集団を形成する中、清原は第二集団でレースを進める。友田は全体の中ほどに、柴田は後方に位置取り、前を窺う。800m 過ぎに、渡部が脱落すると、近藤を集団が追う形となったが、その集団に清原が付き、ラスト400m で九州大の吉岡に付いて見事なスパートを見せ、自己ベストで3点を

もぎとった。友田は中盤以降、前についていく事ができず、現役最後の七大会戦で得点で飾ることはできなかった。柴田は粘ったものの得点ラインに近づく事は出来ず、悔しい走りとなった。(飯田)



1 回生ながら入賞した清原。これからの成長が楽しみな選手の1人だ。

女子400m 予選

小野 萌子	(3)	1.01.02
後藤 加奈	(2)	1.01.27

女子400m 予選には、小野と後藤が出場した。予選1組に出場した小野はスタートと同時に勢いよくとびだしそのまま200mを通過。200m通過後ややスピードが落ちたように見えた。隣の4レーンを走っていた東京大学の坪浦が追い上げてきたものの、小野はその後順位を落とすことなく、1位の東京大学の坪浦から少し離れて2位のゴールとなった。

予選2組に出場した後藤も勢いよく飛び出し、先頭を東北大学の佐貫、それに続いて大阪大学の延安、京都大学の後藤は200mを3位で通過した。その後ラストスパートでは、粘りの走りを見せ、少し前を走っていた大阪大学の延安をかわして2位でゴールした。(上島)

男子400m 予選

小谷 哲	(2)	48.70	q	PB
小原 幹太	(2)	49.37	Q	PB
浅井 良	(1)	49.71	Q	

400m 予選には小谷、小原、浅井が出場した。1組目の小谷は前半から積極的にとばし、250m 付近で一気に前に出た。最後に二人に抜かれてしまったが、大きく自己ベストを更新し、タイムで決勝へ進出した。

2組目の小原は全体を通してしっかり自分のペースで走り、こちらも自己ベストを更新して2着で予選を通過した。

3組目の浅井は、序盤にランキングトップの阪大の佐藤に抜かれるも冷静に走り、2着で予選を通過した。(芦田)

400mH 予選

五十嵐 隆皓	(3)	55.61	PB
長谷川 隼	(1)	55.57	PB
広兼 浩二郎	(4)	54.65	

1組目、まず名大の真野(3)が先頭に立ち、五十嵐(3)は他の選手と8台目まで並んで追う展開となり、ホームで離されてしまい4着となったが自己ベストを1秒以上更新。2組目、長谷川(1)は前半遅れを

取るものの、4台目から追いつき始めたが7台目バランスを崩し失速。その後追い上げるも4着に終わったが大学デビュー戦から2連続の自己ベスト更新となった。3組目、広兼(4)は8台目まで2位争いを繰り広げ、3位についたが10台目逆足で跳んだところを後ろの選手にさされ、ラスト追うも0.01秒及ばずプラスもその選手に譲る形となった。(平野)

女子800m 決勝

岸本 絵理	(4)	2.24.61	6 位
-------	-----	---------	-----

女子800m 決勝には岸本が出場した。スタート直後勢いよくとびだしたが、先頭集団のペースについて行けず、先頭集団は400m を63秒で通過し、岸本は先頭集団から少し遅れて68秒の通過となった。400m通過後、岸本の後ろを走っていた北海道大学の豊澤と東北大学の加藤に追い抜かれてしまい、順位を落としこの時点で岸本は7位となる。しかし、残り200mでラストスパートをかけ、岸本の少し前を走っていた東北大学の加藤まで追いつき、0.6秒差で岸本が6位でゴールした。苦しい走りとなったが、最後まで粘り強い走りを見せた。(上島)

男子800m 予選

木村 佑	(1)	1.57.10
土屋 維智彦	(2)	1.55.95 q
立花 孝裕	(4)	2.00.10

1組には木村が出場した。1周目は58秒

と比較的スローな展開の中、木村は集団の前方に位置取る冷静な走りを見せ、残り300mでトップに抜け出し、決勝への進出が期待されたが、ラスト100mで北大・小畑と阪大・安部に抜かれ、0.01秒差で決勝を逃した。2組には土屋が出場した。序盤から抜け出した明大・森を集団が追う形となったが、土屋は1周目のホームストレートで集団の先頭に立つなど積極的な走りを見せ、タイム順で見事決勝進出を決めた。3組には立花が出場した。レースは集団で、安定したペースの中進み、立花は集団に喰らいついて、決勝への気持ちのこもった走りをみせたが、500mを過ぎて集団のペースアップについていく事が出来ず、決勝進出は叶わなかった。(飯田)

女子100m 決勝(+1.0)

川崎 仁美	(4)	13.20	7位
小野 萌子	(3)	13.07	6位

女子100m 決勝には川崎(4)と小野(3)が出場した。川崎はスタートがうまく決まったが、中間疾走でうまくスピードに乗れず、離されてしまい7位に、小野はスタートで出遅れてしまい後半追い上げを見せたが惜しくも届かず、6位という結果に終わってしまった。(芦田)

男子100m 決勝(+0.1)

澤 薫	(4)	10.64	1位	PB
安藤 滉一	(3)	10.86	3位	
庄司 溪	(4)	10.94	7位	

100m 決勝には澤、庄司、安藤が出場

した。序盤は東北大の藤井が先行するも、中盤から澤が一気に伸び、終盤にかわして1着となった。安藤は膝に不安を抱えながらも最後まで粘り、3着でゴールした。4着以降は混戦で、庄司は終盤に追い上げたが、あと一步届かず7着だった。京大としては、3人全員が決勝で走り、10点を獲得し、勢いをもたらす結果となった。(芦田)



決勝で力走する澤、安藤、庄司溪の3人。特に澤(一番手前)は100m、200m、4×100m リレーで3冠を達成し、京大に大量得点をもたらした。

110mH 予選

田中 伸幸	(4)	15.30 (+0.5)	q
福島 理	(3)	15.47 (+1.0)	
小野 貴裕	(2)	15.24 (+0.3)	q PB

1組目には田中が出場した。3着と同時タイムであったが着差ありの2着でゴール。きっちり着順で決勝進出を決めた。予選タイムは全体の7番目。

2組目には福島が出場した。2着争いは混戦であったが、4着という結果に。自己ベストに近い走りをしたが、決勝進出とはならず、悔しい結果となった。

3組目には小野が出場した。自己ベストを更新する走りで、ともに14秒台の本間、手石に続く3着でゴール。プラス2の1番目で決勝へと駒を進めた。予選タイムは全体の6番目。決勝進出ラインは15“30であった。(花房)

3000mSC 決勝

土田 侑秀	(3)	9.28.68	3位	PB
山下 弘輝	(4)	9.47.31	10位	PB
渡邊 康介	(3)	9.56.65	15位	PB

3000mSCには山下(4)、渡邊(3)、土田(3)が、出場した。試合は1周のラップが80秒と安定したペースで進むが、すぐに縦長となった。土田は終始先頭につき、勝負はラスト3人の争いとなる。ラスト1周の最初の障害を越えたあたりで、大阪の檜山がスパートをかける。土田は対応しきれず、3位でゴール。山下と渡邊は徐々に先頭にはなされてしまった。ただ山下は4回生の意地を見せ、ラスト2人を抜き、10位でゴール。渡邊は粘りきれず、15位でゴール。ただ全員ベストという結果でチームを盛り上げた。(久田)

男子4×100mR 決勝

加藤—安藤—庄司—澤 40.74 1位
NGR

1走は加藤(1)、2、3、4走は100m 決勝に進んだ安藤(3)、庄司(4)、澤(4)のオーダーで挑んだ。加藤は若干遅れながらも他の大学とほぼ同時に2走の安藤に上手く繋いだ。安藤の走りによりトップに立ち、3走の庄司へもスムーズに中継し、庄司はそのままトップを維持した。その後4走の澤への中継時に名大、阪大が前に出るも澤はことごとくかわし、1着でフィニッシュした。(平野)



2015年に京大が出した大会記録を更新したリレーメンバーにはさらなる記録更新が期待できる。

5000mW 決勝

山西 利和(4) 20.20.05 1位

高野 圭太(3) 21.35.17 3位

男子5000mWには山西(4)、高野(3)が出場した。

序盤は山西、高野がともに先頭集団のなかでレースを進め後続の集団との差を広げるが、1000m過ぎから次第に高野が離され、先頭集団は3人に絞られた。先頭集団の最後尾でレースを進めていた山西は3000m付近でスパートをかけ、先頭に飛び出し、ランキング通りの実力を見せつけ優勝。高野は序盤で離されたものの、粘りを見せ、3位でゴール。見事1位と3位をとって目標を達成し、10点を獲得した。(津吉)

男子400m 決勝

小谷 哲	(2)	48.80	5位
小原 幹太	(2)	49.39	6位
浅井 良	(1)	49.70	8位

出場者3名全員が決勝に進出した。予選から48秒台の自己新をマークした小谷は前半から先頭集団に食らいついていきラスト100mの地点で3位にまで浮上する。しかし、最後の直線で差をつけられ5位でゴール。小原は前半から前に出ることができず厳しい戦いとなった。しかし終盤の追い上げで順位を上げて6位でゴール。浅井は最初の対校戦の中前半を快調に飛ばすも後半で勢いに乗れず8位でゴール。この種目では京大は3点を獲得した。大量得点とはならなかったが小谷、小原は自己新を予選で出しており全員が1,2回生でこれからに期待がかかる。(中野克)

200m 予選

庄司 溪	(4)	22.25 (+0.0)
安藤 滉一	(3)	21.95 (-0.5) Q
澤 薫	(4)	21.76 (-0.4) Q

男子200m 予選は庄司(4)、安藤(3)、澤(4)が出場した。

1組の庄司はスタートから前半にかけてスピードに乗れず、やや出遅れてしまったが、直線に入ってから、前の選手を追い詰める粘り強い走りを見せた。しかし、惜しくも届かず3位でゴールインした。

2組目の安藤はスタートダッシュがうまく決まりスピードにうまく乗りそのまま、直線で後続を引き離し予選通過を決めた。

3組目の澤は前半から圧倒的な速さを見せ直線で完全に抜け出し最後は流して楽々の予選1位通過を決めた。(宇佐美)

女子3000m 決勝

岡本 萌巴美	(4)	10.31.09	5位
増田 茄也子	(3)	10.40.67	8位

女子3000mには岡本と増田が出場した。増田は優勝、岡本は3位を目指した。スタート直後から阪大の選手が飛び出し、増田、岡本は集団の中でレースを進める。中盤あたりから、集団が二つに割れ、増田は2位集団、岡本は後ろの集団につくが、1800m付近で、岡本が前の集団に追いつく。ラスト600あたりから、徐々に増田が離され、ラストは追上げるも8位でゴール。岡本はラスト

100mで九大の選手に抜かれ、5位でゴール。得点することができず、悔しい結果となった。(津吉)

女子400m 決勝

小野 萌子 (3) 1.00.08 3位
後藤 加奈 (2) 1.00.86 4位 CB

京大からは小野(3)と後藤(2)が進出した。他大の2人の実力が抜けている中、京大の2人とも前半から果敢に攻め、小野は300m過ぎに3番手にたつと、勢いそのままに3着でゴール。後藤もラスト30mほどで名大の選手をかわし4着でゴール。ランキングを覆して見事3点を獲得した。(岡本)

男子800m 決勝

土屋 維智彦 (2) 2.02.71 6位

京大からは土屋(2)が進出。スタートして100mほどからスロー気味になり200mは30秒で通過。200～400は35秒と超スロー。500mあたりから全体のペースが一気にあがり、土屋も先頭集団に食らいつく。ラスト100mは少し離され6着でゴール。怪我で練習が積めない中でも意地の1点を獲得した。(岡本)

110mH 決勝(+1.0)

小野 貴裕 (2) 15.03 6位 PB
田中 伸幸 (4) 15.41 8位

110m ハードル決勝には小野と田中が出場した。小野は1レーンで田中は7レーンだった。小野はスタートから徐々に周

りの選手に離されてしまったものの、8レーンの東北大の選手との競りを見せ、なんとか6位でゴールイン。更にベストを更新した。田中は足首の怪我の影響もありハードル1台目から周りに離されて8位でゴールした。しかし足首の怪我で走れない状態から僅かな期間で15.41で走れる能力は驚異的であり、両者とも自身のポテンシャルを存分に京大に見せてくれたように思える。(増尾)

200m 決勝(+0.0)

澤 薫 (4) 21.57 1位 PB
安藤 滉一 (3) 22.26 7位

200m決勝には5レーンに澤(4)、7レーンに安藤(3)の2名が出場した。ともに100m, 4継に続くこの日5本目のレースであった。安藤はスタートからの流れはよかったものの、疲れによって後半スピードに乗り切れなかったように見えた。対照的に澤は、スタートは完ぺきではなかったように見えたが、50mからスピードに乗ると後半まで他を寄せ付けず1着でゴールした。(前田)

5000m 決勝

尾崎 拓 (4) 14.55.85 3位
柴田 裕平 (4) 15.05.51 6位
原田 麟太郎 (2) 15.27.92 12位

5000mには柴田(4)、尾崎(4)、原田(2)が、出場した。試合開始から直後、実力的にトップの東大の近藤と柴田が前にでる。これに、尾崎も対応するように前へでた。後ろに原田を含む第2集団ができ

た。ただ、柴田はついていけないとふんだのか、1000mほどで先頭から離れ、第2集団に加わった。尾崎はなんとか粘るも、レース後半で近藤に離された。さらにラストで第2集団トップの北大の酒井に抜かされ、惜しくも3位でゴール。柴田は、ラスト踏ん張り6位でゴール。原田は持ち前の粘りをいかして第2集団で粘るが12位でゴール。柴田は上位入賞が期待できただけに、惜しい結果となった。(久田)

女子4×100mR 決勝

川崎—小野—後藤—林 51.80 6位

1走の川崎はスタートからキレのある走りからスムーズなバトンパスで2走の小野へ。小野は400mを2本走った疲労を抑え粘りの走りで3走の後藤へ。このバトンパスは少し詰まってしまう。後藤もスムーズなバトンパスで4走の林につなぐ。林は前半良い走りをしたものの高跳びの疲れからか後半失速してしまい、6位でフィニッシュした。複数種目に出場した人が多かったことが大きかったか。他校の層の厚さを感じさせるレースだった。(前田)

4×400mR 決勝

小谷—浅井—加藤—小原 3.16.94 3位

小谷、小原、浅井は400mの予選と決勝を走った後の出場であったが、4人全員が49秒台前半から中盤で帰ってくるレース展開を見せてくれた。1走の小谷が疲れを感じさせない走りでトップ層の中

バトンを浅井につないだ。2走と3走で混戦となるもののアンカーの小原がゴール直前で大阪大を追い抜いて3位。今大会では名古屋大が大会新を出したりして他大学のレベルの高さを感じた。その一方で、4人中3人が1,2回生で組まれた京都大マイルの3位入賞は今後の可能性を感じさせるものになっただろう。(中野克)

<跳躍競技>

三段跳 決勝

三神 惇志 (2) 14m30 (-0.3) 7位

男子三段跳には三神(2)が出場した。三神は1回目はファール、2回目は踏切板の約1m

手前からの踏切となり、足合わせに苦しんだが、3回目に14m30を跳びなんとか5位でベスト8進出を決めた。しかしその後記録を伸ばせず、6回目に2人に記録を抜かれ7位という悔しい結果になった。(横山寛)

棒高跳 決勝

珍坂 涼太 (4) 4m00 7位

澤 薫 (4) 3m80 8位

平島 敬也 (2) 3m60 9位

棒高跳には澤、珍坂、平島の3人が出場した。まず平島が3m40、3m60を一回で成功させ、勢いを見せた。その後3m80に挑むも3回ともバーを越えることができなかった。ついで4×100mリレーで優勝を決めた直後の澤が登場し、3m80のバーに挑んだ。疲労軽減のため

助走を短くし、3m80を一度失敗するも2度目で成功させた。珍坂は4m から挑戦し、一度失敗するも2度目で成功させた。次は澤の跳躍だったが、前の阪大、北大の選手が4m を一回で成功させたため、得点するためにはそれ以上の跳躍をする必要が生じ、4m をパスして4m10に挑戦した。しかし100と4×100m リレーの疲労からか、3回ともバーを越えることができなかった。続く珍坂も4m20を3回失敗し、京大は棒高跳で惜しくも得点を逃した。しかし澤はその後200m に出場して優勝を決めたので、100、4×100m リレーの優勝と合わせて京大に大きく貢献したと言える。(増尾)

男子走高跳 決勝

竹田 風馬	(4)	1.90	6 位
五十嵐 隆皓	(3)	1.80	1 2 位
吉川 樹	(1)	1.80	1 3 位

走高跳には竹田(4)五十嵐(3)吉川(1)が出場した。吉川は1.70, 1.75と難なく成功しつづく1.80も二本目で成功した。五十嵐は400mH の疲労が目立ち1.75を二本失敗し三本目で無事成功, 1.80は一本目で成功した。1.85では二人とも成功ならず試技を終えた。竹田は1.85から跳び始め, 1.85を二本目, 1.90を一本目で成功させた。1.95は三本とも非常に惜しい跳躍だったが越えられず記録1.90で終了。一本目で成功したことにより同率6位で0.5点を獲得した。(梶原)

女子走高跳 決勝

林 玲美	(3)	1.66	1 位	NGR PB
------	-----	------	-----	--------

女子走り高跳びには3連覇のかかる林が出場した。1.55, 1.58を難なく一本目で成功させると東北大,中村(3)と一騎打ちとなる。林はつづく1.61余裕をもって成功させ優勝をきめるとバーを1.66にあげ大会記録に挑戦。一本目惜しい跳躍で失敗するも二本目でみごと成功。大会新記録での優勝をはたした。



大会新記録樹立と自己ベスト更新を果たし優勝した林。

男子走幅跳 決勝

三神 惇志	(2)	6m57 (+0.2)	1 2 位	PB
本居 和弘	(2)	6m53 (-0.7)	1 3 位	
南井 航太	(2)	6m45 (+0.2)	1 4 位	

男子走幅跳には本居(2)、三神(2)、南井(2)の3人が出場した。ベスト8ラインは6m74、得点ラインは7m04となった。6m90台の記録を持つ本居は得点が期待

されたが、6m50台で低迷した記録となった。三神は自身の記録を更新したが、南井とともにベスト8に届く跳躍はなく、3回で競技を終了することとなった。今後上位陣と記録で競れるような勝負強い選手になってほしい。(横山寛)

<投擲競技>

やり投 決勝

中山	奎吾	(3)	56m31	4位	
浅野	智司	(4)	55m66	5位	PB
松井	そら	(2)	49m17	11位	PB

3選手が出場したやり投げ決勝。中山(3)は1投目から56m31を投げる快投を見せ、2投目、6投目も55m台を記録するなど安定感のある投擲をした。

浅野(4)は1投目でPBとなる55m66を記録するも、この回でひじを痛める。2投目をパスし3投目で50m41を投げたものの、ひじの痛みが激化したか以降3回を棄権する。

松井(2)も1投目から48m28と自己新に近い投擲をし、2投目はついにPBとなる49m17を記録。が、一步及ばず11位となる。

6位以上が3回の投擲内で55m以上を記録するなどハイレベルな試合内容となったが、京都大学は4、5位につけて5点を獲得した。中山は最後まで好投したが試合後ベストを更新したい悔いの残る一戦だと語った。浅野はひじの影響が気になる試合だったが主将として気迫のこもった投擲を見せた。松井は調子を上げてきており次は50mを超える投擲が期待される。(藤田)

女子砲丸投 決勝

横山	優花	(3)	10m48	2位
福井	優輝	(2)	8m33	7位

女子砲丸投には横山(3)と福井(2)が出場した。横山は1投目に10m43を投げ全体の2位で、福井は3投目に8m33を投げ全体の7位でトップ8に進出。優勝を目標としていた横山は4投目以降にさらに記録を伸ばした1位の選手を追って、最終投擲で記録を伸ばし10m48を投げたが惜しくも及ばず2位となった。福井は4投目以降も8mを超える安定した投擲を見せるも目標としていた9mには届かなかった。両者とも今回は目標には届かなかったが、着実に実力はついており、今後の大幅な自己新、蒼穹新が期待される。

(中野水)



気迫の投擲を見せた横山。女子主将として新チームを牽引して欲しい。

男子砲丸投 決勝

金子 湊人 (4) 10m23 1 3位 PB
松井 そら (2) 9m42 1 6位 PB
浅野 智司 (4) NM

ことができなかったが、混成選手ながら
8位と健闘した。(中野水)

小雨の降る中行われた男子砲丸投げ決勝には浅野(4)、金子(4)、松井(2)の三人が出場した。直前のやり投げで肘を痛めて浅野が試技を行うことができない中で、金子が1投目に9m16、2投目に10m23と記録を伸ばした。松井は攻めた投擲を見せるも足がわずかに出てしまい1投目2投目ともにファール。続く3投目では金子が9m92、松井が9m42を投げたが共にエイトには残ることができなかった。(澤田)

円盤投 決勝

大橋 悟 (2) 37m70 3位
平島 敬也 (2) 32m36 8位 PB
金子 湊人 (4) NM

男子円盤投には金子(4)、大橋(2)、平島(2)が出場した。金子はアキレス腱痛を抱えながらも練習で調子がよく得点が期待されたが、1、2投目と右にそれてファールで迎えた3投目も思うように伸びず記録を消してファール。NMという悔しい結果に終わった。40mを超える自己記録を持つ大橋は3投目までは調子が上がり、5位でトップ8に進出。4、5投目と右にそれてファールとなり追い込まれた最終投擲、37m70を投げて2つ順位を上げ、4点を獲得した。平島は1投目自己ベストとなる32m36を投げトップ8に進出。その後サークルで滑り記録を伸ばす

4. 七大戦記録

(予選決勝あるものは決勝のみ)

<男子の部>

▼100m (+0.1)

1	澤 薫	京都大	10.64
2	藤井 佳祐	東北大	10.72
3	安藤 滉一	京都大	10.86
4	橋本 太翔	名古屋大	10.92
5	木下 将一	大阪大	10.93
6	阿久津 大貴	東京大	10.94

▼200m (+0.0)

1	澤 薫	京都大	21.57
2	長谷川 有希	名古屋大	21.86
3	本司 澄空	九州大	21.87
4	聲高 健吾	東京大	21.92
5	久新 陽一郎	北海道大	21.99
6	白鳥 海知	東北大	22.25

▼400m

1	佐藤 弘樹	大阪大	48.18
2	嶋田 健太郎	名古屋大	48.32
3	志賀 颯	大阪大	48.40
4	水戸部 慶彦	東北大	48.67
5	小谷 哲	京都大	48.80
6	小原 幹太	京都大	49.39

▼800m

1	川口 航汰	東北大	2.01.31
2	砂原 健汰	名古屋大	2.01.92
3	安部 光騎	大阪大	2.01.92
4	佐藤 宏夢	東北大	2.01.99
5	小畑 皓恭	北海道大	2.02.13
6	土屋 維智彦	京都大	2.02.71

▼1500m

1	酒井 洋明	北海道大	3:52.50
2	近藤 秀一	東京大	3:55.14
3	吉岡 龍一	九州大	3:57.44
4	清原 陸	京都大	3:57.55
5	荒田 啓輔	東北大	3:57.64
6	金綱 航平	北海道大	4:01.48

▼5000m

1	近藤 秀一	東京大	14:43.72
2	酒井 洋明	北海道大	14:55.51
3	尾崎 拓	京都大	14:55.85
4	岩見 直弥	九州大	14:58.63
5	竹鼻 大貴	北海道大	15:04.90
6	柴田 裕平	京都大	15:05.51

▼110mH (+1.0)

1	真野 悠太郎	名古屋大	14.34 NGR
2	岩瀬 累	名古屋大	14.46 GR
3	本間 貴裕	大阪大	14.58
4	手石 雅人	名古屋大	14.76
5	田中 俊輔	大阪大	14.81
6	小野 貴裕	京都大	15.03

▼400mH

1	真野 悠太郎	名古屋大	50.78 NGR
2	小田 将矢	名古屋大	51.76 NGR
3	上野 和樹	名古屋大	52.30
4	壹岐 晃平	九州大	53.06
5	田里 康介	大阪大	54.04
6	富樫 直斗	北海道大	54.48

▼300mSC

1	樫山 直生	大阪大	9.21.01
---	-------	-----	---------

2	立野 佑太	東北大	9.24.04
3	土田 侑秀	京都大	9.28.68
4	西 慶一郎	大阪大	9.33.43
5	吉田 晃一郎	九州大	9.35.78
6	阿部 飛雄馬	東京大	9.35.80

▼4×100mR

1	京都大学	40.74	NGR
2	名古屋大学	41.10	
3	大阪大学	41.32	
4	東京大学	41.52	
5	九州大学	41.53	
6	北海道大学	41.87	

▼4×400mR

1	名古屋大学	3.14.61	NGR
2	東北大学	3.15.95	
3	京都大学	3.16.94	
4	大阪大学	3.17.06	
5	東京大学	3.17.45	
6	九州大学	3.19.10	

▼5000mW

1	山西 利和	京都大	20.20.05
2	中川 岳士	北海道大	20.34.24
3	高野 圭太	京都大	21.37.17
4	古川 誠也	大阪大	22.04.83
5	寺島 智春	東北大	22.13.92
6	佐伯 元春	名古屋大	22.21.99

▼走高跳

1	羽田 充宏	大阪大	2m04
2	山下 一也	東北大	2m04
3	大賀 春輝	大阪大	2m01
4	田中 祥平	東北大	1m90
5	小山 航	名古屋大	1m90

6	赤塚 智弥	東京大	1m90
6	竹田 風馬	京都大	1m90

▼棒高跳

1	三宅 功朔	東京大	4m80
2	杉山 翔馬	北海道大	4m50
3	高橋 昇之	東北大	4m50
4	生野 雄大	大阪大	4m20
5	大曲 和輝	大阪大	4m00
6	安部 晋吾	北海道大	4m00

▼走幅跳

1	中谷 豪汰	大阪大	7m41 (+0.6)
2	角屋 喜基	名古屋大	7m39 (+1.3)
3	橋本 太翔	名古屋大	7m31 (+0.7)
4	木下 将一	大阪大	7m28 (-0.7)
5	伊藤 裕也	名古屋大	7m17 (+0.7)
6	木下 秀明	東京大	7m04 (+0.6)

▼三段跳

1	中谷 豪汰	大阪大	14m83 (-0.2)
2	伊藤 裕也	名古屋大	14m61 (-0.2)
3	浜島 裕亮	名古屋大	14m45(+0.2)
4	木下 秀明	東京大	14m42 (-0.5)
5	平木 基人	東京大	14m38 (-0.3)
6	吉國 利啓	大阪大	14m34(+0.6)

▼砲丸投

1	楠 哲也	東北大	13m47
2	赤坂 健太朗	北海道大	12m65
3	濱崎 拳介	九州大	12m34
4	重吉 比呂	大阪大	12m04
5	野村 琢真	大阪大	11m60
6	深谷 侑生	名古屋大	11m47

▼円盤投

1	楠 哲也	東北大	42m61
2	赤坂 健太朗	北海道大	38m25
3	大橋 悟	京都大	37m70
4	西田 亮也	名古屋大	35m07
5	諏訪 雄山	九州大	34m96
6	佐竹 俊哉	東京大	34m17

▼ハンマー投

1	浅野 智司	京都大	43m96
2	野尻 英史	東北大	38m24
3	野村 琢真	大阪大	37m53
4	大橋 悟	京都大	37m06
5	笹島 史好	北海道大	36m79
6	横浜 立	北海道大	36m24

▼やり投

1	西田 亮也	名古屋大	62m09
2	栗林 篤	名古屋大	59m35
3	楠 哲也	東北大	59m06
4	中山 奎吾	京都大	56m31
5	浅野 智司	京都大	55m66
6	野村 琢真	大阪大	54m11

<女子の部>

▼100m (+1.0)

1	佐貫 有彩	東北大	12.30 NGR
2	藤原 郁美	大阪大	12.49
3	佐々木 千肅	東北大	12.52
4	岡 愛美	名古屋大	12.53

▼400m

1	佐貫 有彩	東北大	57.08 NGR
2	坪浦 諒子	東京大	58.40
3	小野 萌子	京都大	1.00.08
4	後藤 加奈	京都大	1.00.86

▼800m

1	高石 涼香	東京大	2.11.89 NGR
2	野尻 真由	大阪大	2.12.81 NGR
3	上條 麻奈	東北大	2.13.65 NGR
4	上田 江里子	北海道大	2.16.59

▼3000m

1	高石 涼香	東京大	10.15.39
2	三池 瑠衣	大阪大	10.22.28
3	山下 奈央	名古屋大	10.26.59
4	藤村 柚紀子	九州大	10.28.96

▼4×100mR

1	東北大学	48.57	NGR
2	大阪大学	49.66	
3	名古屋大学	50.58	
4	東京大学	51.23	

▼走高跳

1	林 玲美	京都大	1m66 NGR
2	中村 真璃子	東北大	1m58
3	福田 早紀	大阪大	1m55
4	塚越 千弘	北海道大	1m50

▼走幅跳

1	内山 咲良	東京大	5m55 (+1.0)
2	野尻 真由	大阪大	5m49 (+1.9)
3	今川 尚子	大阪大	5m38 (-0.1)
4	岩本 法子	九州大	5m34 (+0.0)

▼砲丸投

1	大西 美佐歩	名古屋大	10m92
2	横山 優花	京都大	10m48
3	綿谷 咲良	北海道大	10m09
4	塚越 千弘	北海道大	9m61

5. 七大戦オープンの記録

<男子の部>

▼100m

土屋 佑太	11.02	-1.8	
紀平 直人	11.30	-2.6	
珍坂 涼太	11.39	-2.6	PB
岡本 和也	11.44	-1.5	
清水 利宇	11.50	-1.1	CB
林 聖也	11.60	-0.6	
梶原 隆真	11.68	-3.1	大学初
坂口 雄太	11.88	-2.0	
数多 伸紀	11.88	-1.9	大学初
吉川 広祐	11.99	-1.9	
長崎 裕貴	12.00	-0.8	
西脇 友哉	12.03	-0.8	
黒瀬 慶	12.05	-1.3	大学初
芦田 開	12.26	-2.2	大学初
小林 直礼	12.38	-1.3	大学初
小野坂 健	12.45	-1.1	
豊本 竜希	12.83	-1.1	

▼400m

田中 達也	50.47	CB
平田 泰行	52.06	PB
中野 克哉	52.62	大学初
小柴 鷹介	52.80	大学初
吉川 広祐	53.22	PB
坂口 雄太	55.36	
豊本 竜希	56.55	
小林 直礼	57.88	
長崎 裕貴	58.15	

▼1500m

下迫田 啓太	3:58.66	PB
--------	---------	----

松葉 悠剛	4:08.29	PB
谷川 尚希	4:10.36	PB
平中 章貴	4:13.62	PB
大前 晃一	4:15.69	PB
相澤 航	4:20.44	CB
前田 裕也	4:20.60	大学初
川井 拓哉	4:23.09	
足立 涼	4:25.49	
糠谷 充孝	4:27.25	
里美 音実	4:27.31	
川岸 亮平	4:29.00	
宇佐美 岳良	4:29.09	大学初
永岡 源太郎	4:31.06	CB
清水 秀広	4:34.77	
河村 一輝	4:36.92	
大下 拓真	4:38.73	
飯田 駿介	4:50.11	大学初
豊本 竜希	5:06.50	
長崎 裕貴	5:07.35	

▼5000m

相澤 航	16:11.11	
寶 雄也	16:24.62	
里美 音実	16:38.31	
大下 拓真	16:39.56	
糠谷 充孝	16:42.65	
秋本 啓太	17:37.28	
清水 秀広	17:40.24	
津吉 順平	17:50.44	大学初
中空 聡斗	18:03.67	大学初

▼5000mW

大本 康平	22:13.84	
田中 雄也	22:39.88	
亀田 孝太郎	22:52.06	

▼4×400mR

岡本 一 下迫 田 一 松葉 一 寶 3.43.64

▼やり投

中野 水貴 39.68

▼走幅跳

長崎 裕貴	5.66	-0.1	
清水 利宇	5.62	-0.5	
扇澤 剛志	5.51	-0.6	大学初
豊本 竜希	5.08	+1.0	CB

▼やり投

藤田 歩	37.15	PB
寶 雄也	NM	
豊本 竜希	25.46	

▼棒高跳

増尾 浩旗	NM
小野坂 健	NM

<女子の部>

▼100m

菅野 紗希	13.24	+0.1	
宮崎 伶菜	13.85	-0.5	
花房 柚衣香	14.06	+1.2	CB

▼400m

菅野 紗希 62.89 大学初

▼1500m

上島 ほのか 5.14.18 CB

▼5000mW

高野 寛子 25.12.31

▼走幅跳

宮崎 伶菜 4.46 +1.0

6. 応援にお越しいただいた

OB・OGの方々

御名前 御卒業年度

南浦基二様	S 3 4
三島宏夫様	S 3 5
中江祐三郎様	S 3 6
山崎稔様	S 3 6
市川哲様	S 3 8
平井真一郎様	S 4 0
出納正彬様	S 4 0
鯉谷忠夫様	S 4 1
藤原忠義様	S 4 1
森本正幸様	S 4 1
小竹爽男様	S 4 2
山本和賢様	S 4 3
織本聡様	S 4 4
勝村弘也様	S 4 4
沼野正義様	S 4 7
中村茂夫様	S 4 8
池本忠司様	S 4 9
家村芳次様	S 5 1
池田康博様	S 5 1
桂総一郎様	S 5 1
宮下欣二様	S 5 1
増田剛志様	S 5 2
楠俊策様	S 5 3
真野勝文様	S 5 3
小山一之様	S 5 4
重村充男様	S 5 4
三好稔彦様	S 5 4
清水智志様	S 5 7
井内良三様	S 5 9
熊谷元様	S 5 9
渡辺力様	S 6 2

渡辺美根様	S 6 2
政谷みどり様	H 1
加藤昌芳様	H 3
前田達朗様	H 2 1
谷口裕幸様	H 2 3
長谷川聡様	H 2 5
堀田孝之様	H 2 5
眞武俊輔様	H 2 5
矢澤学様	H 2 5
久好哲郎様	H 2 6
平井幹様	H 2 6
牧川真央様	H 2 6
横山高広様	H 2 6
大川真奈様	H 2 7
中井一宏様	H 2 7
西田光治様	H 2 7
森田悠也様	H 2 7
市川和也様	H 2 8
梶原諒一様	H 2 8
櫻井大介様	H 2 8
佐藤優斗様	H 2 8
田中友里様	H 2 8
新田一樹様	H 2 8
藤森光世様	H 2 8
山岡隆夫様	H 2 8
泉奏子様	H 2 9
海老原脩様	H 2 9
大野真澄様	H 2 9
岡部龍樹様	H 2 9
坂上小百合様	H 2 9
中西規能様	H 2 9
松岡茜様	H 2 9
見鳥大樹様	H 2 9
森田大地様	H 2 9
山木田雅様	H 2 9
山中遥加様	H 2 9

我妻総様 H 2 9

天野康平様 H 2 9



蒼穹ニュース 平成29年度 第4号
平成29年8月6日発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：潮崎羽・水野廉也・三谷圭（副務）
特別協力：秋本啓太・三田村侑紀・山内美佳（学連員）
大前晃一・糠谷充孝（記録係）・土田侑秀（HP 係）
写真担当：土屋維智彦・広川知佳・福井優輝

陸上競技部 HP	http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/
陸上競技部記録 HP	http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku/index.htm
関西学連 HP	http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm
メールアドレス	onyourmarks.136@gmail.com（水野）